

令和3年度 徳島県立ひのみね支援学校「学力向上実行プラン」

徳島県立ひのみね支援学校長 林 素弘

1 学力向上検討委員会構成

学力向上検討委員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭	林 素弘 西 直子, 森本 裕美
学力向上推進員	教諭(教務課長) 教諭(学部長)	福崎 久美 (小)久樹 磨美 (中)新居 知美 (高)伊井 敏
委員	指導教諭(研究課長) 教諭(人権進路課長) 教諭(教務主任)	山田 千代 宮本 洋子 (中)沖 美香 (高)豊田 尚子

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

(全学部・全学年) 児童生徒の状況		
よさ	興味関心があること, これまでの学びや習得した動作等を使って意欲的に活動できる。重度重複障がいのある児童生徒については, 保護者や関係機関等の支援を受けて健康に留意し活動することができている。	課題 日常生活に必要な基本的な姿勢の保持や動きについての習得や改善, 維持することが課題である。また, 支援や援助を受けることが多く受け身になりやすいので, 生活全般にわたり体験する機会を増やし, できる経験につなげ主体的に生活してほしい。
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
一人一人の児童生徒が身体や心の安定を図り, 教員の支援を受けて自分の身体や気持ちに向かい合いながら課題に取り組む。	中心的課題をもとに今年度重点をおいて取り組む課題(自立活動)について, 個別の指導計画の2・3学期の目標で「十分達した」「達した」という評価を80%以上とする。	評価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
1 児童生徒一人一人の中心的課題を捉え, それをもとに重点的に取り組む課題を明らかにするための自立活動実践シートケース会を実施する。課題は授業者で確認をする。 2 それぞれの課題について, 専門家や自立活動担当者の助言を受けたり, 研修や訓練見学を実施したりして指導の改善に活かす。 * 中間期の見直し	①8月末までに全員のケース会を行う。 ②課題について専門家や自立活動担当者の助言や研修を受け指導の改善を図ったり, 12月のケース会において進捗状況を確認し合う。	
達成状況を踏まえた改善事項		